

## 第2回福岡県地球温暖化対策実行計画専門委員会 議事要旨

### 1 開催日時等

- (1) 日時：令和8年5月13日（水）13時00分～16時30分
- (2) 場所：千代合同庁舎 C301会議室

### 2 議事

- (1) 事務局からの報告
  - ア 福岡県地球温暖化対策実行計画専門委員会設置要綱の改正
  - イ 地球温暖化対策に関する福岡県の主な取組（令和8年度）
- (2) 福岡県地球温暖化対策実行計画（第2次）の進捗状況  
～2023年度における福岡県の温室効果ガス排出量～
- (3) 福岡県民環境意識調査の結果
- (4) 第1回専門委員会における委員質問等に対する補足説明
- (5) 次期計画の構成（案）
- (6) 次期計画に向けた論点の整理
- (7) 次回委員会の開催について

### 3 主な意見等

#### ○議事2

##### 【本田委員】

- ・ P7「世帯当たりのエネルギー消費量は、省エネ意識の高まりや高効率設備の導入等により概ね減少傾向」とあるが、エネルギー消費量の削減にそれぞれどのくらいの割合で寄与しているのか。
- ・ P8「業務部門のCO<sub>2</sub>排出量の推移」、P10「運輸部門のCO<sub>2</sub>排出量の推移」について、業務部門は空調とその他業務用、運輸部門は自家用と営業用に分けて排出量を示したほうが分かりやすい。
- ・ P15「一般廃棄物の総排出量の推移」について、廃棄物排出量とCO<sub>2</sub>排出量にどのような関係性があるのか。

##### 【事務局】

- ・ 一般廃棄物は主に焼却処理されていることから、廃棄物排出量の減少に伴いCO<sub>2</sub>排出量も減少傾向にある。なお、廃棄物発電はバイオマス発電の一部に位置づけられており、バイオマス発電については、議事4で説明する。

##### 【渡辺委員】

- ・ エアコンの省エネ基準が引き上げられるが、CO<sub>2</sub>排出量、エネルギー消費量はどのくらい削減されるのか。

##### 【浅野委員長】

- ・ 新基準のエアコンに買い換えた場合、どのくらい削減されるのか試算していただきたい。

##### 【林委員】

- ・新基準のエアコンに買い換えると省エネにはなるが、価格上昇が予想されるため、国民が買えるのかが問題になる。エネルギー貧困者に対する福祉的対策も必要になるのではないか。

**【事務局】**

- ・いただいたご意見を踏まえて分析、検討したい。

**○議事 3**

**【浅野委員長】**

- ・エコふぁみユーザーを対象としたアンケートであるため、意識の高い人が多く、国の調査とは違う傾向が見られる。
- ・住まいの形態によっても結果が変わってくるため、持家と持家以外で比較してみるとよい。

**【本田委員】**

- ・質問 6「所有している電化製品」において、床暖房も調査対象としてはどうか。築年数の浅い持家では、概ね床暖房が導入されているように感じる。

**【事務局】**

- ・床暖房については質問 5「家に付属している設備」で確認している。築年数を調査対象とすることについては検討したい。

**【林委員】**

- ・関心がない人のアンケート結果はどうか。今回の結果を県民に周知することも普及啓発になる。

**【酒井委員】**

- ・P11「省エネ・省資源に取り組む上での課題（障壁）」に「手間がかかる」とあるが、これはどういうことか。

**【事務局】**

- ・詳細を聞いていないが、自分が行動を起こさないといけないということが想定されるのではないかと考える。

**【松本委員】**

- ・農業分野では、JA 単位で温暖化対策に関する様々な取組を進めている。

**【渡辺委員】**

- ・P16「個人で取り組んでいる適応策の内容」について「日頃から節水を心がける」の割合が高いが、全国的に見るとどうか。福岡県は水資源が少ないことが関係しているのか。

**【事務局】**

- ・いただいたご意見を踏まえて分析、検討したい。

## ○議事 6

### 【浅野委員長】

- ・ P3「削減目標」は、北九州市や福岡市の削減目標を考慮して設定する必要がある。国の取組により排出量がどのくらい削減され、県の取組によりさらにどのくらい削減されるかという視点で検討してはどうか。

### 【事務局】

- ・ いただいたご意見を踏まえて検討したい。

### 【本田委員】

- ・ P5「緩和策の基本方針」について、省エネ意識が高まるよう普及・啓発に取り組むことも盛り込むべきではないか。

### 【本田委員】

- ・ P7「2040年度におけるエネルギー需給の見通し」における電源構成について、2040年度の福岡県における見通しを示すことはできないか。

### 【事務局】

- ・ 福岡県は九州内の他県からエネルギー供給を受けているため、九州における見通しを示すことを検討したい。

### 【林委員】

- ・ P11「省エネルギー住宅の普及促進の強化」について、ZEHは富裕層に限られるため、より既存住宅の省エネ改修に力をいれるべき。

### 【渡辺委員】

- ・ P18「吸収源対策」について、ネイチャーポジティブの観点から、土木事業や農林業が吸収源対策に関わってくるが、吸収源対策についてはどのように考えているか。

### 【事務局】

- ・ 福岡県は吸収源がほぼないため、排出削減を主としている。

### 【本田委員】

- ・ 都市部では屋上の緑化も有効ではないか。

### 【浅野委員長】

- ・ 緑化は吸収源対策と適応策の両方の効果がある。環境省のEco-DRRカルテも参考にするとよい。
- ・ 環境教育は子どもだけではなく、大人や事業所も学べるようにする必要がある。
- ・ P29「消費者の負担」は計画改定のテーマとしては重要ではない。

**【酒井委員】**

- ・環境教育は、子どもだけでなく地域住民も対象に広げていくべき。

**【本田委員】**

- ・教職員に対する環境教育が必要。

**【事務局】**

- ・いただいたご意見を踏まえて分析、検討したい。

**4 その他**

- ・次回委員会は7月頃の開催を予定。